

**「無線設備規則及び特定無線設備の技術基準適合証明等に関する規則の各一部改正案」
に対し提出された御意見と総務省の考え方**

【意見募集期間：平成21年10月15日(木)～11月16日(月)】

No.	提出された御意見	総務省の考え方
1	<p>意見 既に整備済みのCATV網または共聴施設の末端にギャップファイラーを接続して地上デジタルテレビジョン放送の再送信を行えるようにすること、および、CATV網または共聴施設への接続を前提としたギャップファイラーを技術基準適合証明制度の対象となる特定無線設備として追加することに賛成致します。</p> <p>理由 上記の制度改正が施行された場合、CATV網や共聴施設にギャップファイラーを接続することが可能になるため、CATV網や共聴施設と地上デジタルテレビジョン放送の受信設備を共用することができ、コスト低減に寄与する考えられます。 また、技術基準適合証明制度または工事設計認証制度の適用を受けられることにより、ギャップファイラーの設置・運用において免許手続きの簡便化や無線従事者資格不要等運用体制の簡素化が図られ、ギャップファイラーの円滑な導入が実現できるものと考えられますので賛成致します。</p> <p align="right">【マスプロ電工(株)】</p>	<p>本件の変更案を支持する御意見として承ります。</p>
2	<p>意見 CATV網又は共聴施設へ接続されるギャップファイラーを技術基準適合証明制度の対象となる特定無線設備として追加することは、ギャップファイラー普及に寄与し地上デジタル放送受信の条件不利地域における難視対策が進むものと考えられるため賛成致します。</p> <p>理由 制度改正が施行されCATV網や共聴施設へ接続されるギャップファイラーが技術基準適合証明制度または工事設計認証制度の適用を受けられることによりギャップファイラーの設置・運用において免許手続きの簡便化や無線従事者資格不要等運用体制の簡素化が図られ、またCATV網や共聴施設と地上デジタル放送の受信設備を共用することが容易となり、条件不利地域における難視対策用ギャップファイラーの建設コスト、保守コスト等の削減が見込まれギャップファイラーの普及が促進されるものと考えられます。</p> <p align="right">【日本ケーブルラボ】</p>	
3	<p>意見 CATV網又は共聴施設へ接続されるギャップファイラーを技術基準適合証明制度の対象となる特定無線設備として追加することは、ギャップファイラー普及に寄与し地上デジタル放送受信の条件不利地域における難視対策が進むものと考えられるため賛成致します。</p> <p>理由 制度改正が施行されCATV網や共聴施設へ接続されるギャップファイラーが技術基準適合証明制度または工事設計認証制度の適用を受けられることによりギャップファイラーの設置・運用において免許手続きの簡便化や無線従事者資格不要等運用体制の簡素化が図られ、またCATV網や共聴施設と地上デジタル放送の受信設備を共用することが容易となり、条件不利地域における難視対策用ギャップファイラーの建設コスト、保守コスト等の削減が見込まれギャップファイラーの普及が促進されるものと考えられます。</p> <p align="right">【(株)帯広シティーケーブル】</p>	
4	<p>意見 CATV網又は共聴施設へ接続されるギャップファイラーを技術基準適合証明制度の対象となる特定無線設備として追加することはギャップファイラー普及に寄与し地上デジタル放送受信の条件不利地域における難視対策が進むものと考えられ賛成致します。 当協会では、地上デジタルテレビジョン放送用ギャップファイラーとその機器及びその測定法について標準規格を定めており、今回の改正が実現されれば、該当規格を一部改定しギャップファイラーの普及を推進して参りたいと考えています。</p> <p>理由 上記の制度改正が施行されCATV網や共聴施設へ接続されるギャップファイラーが技術基準適合証明制度または工事設計認証制度の適用を受けられることによりギャップファイラーの設置・運用において免許手続きの簡便化や無線従事者資格不要等運用体制の簡素化が図られ、またCATV網や共聴施設とギャップファイラー設備とが受信設備を共用することが容易となり、条件不利地域における難視対策用ギャップファイラーの建設コスト、保守コスト等の削減が見込まれギャップファイラーの普及が促進されるものと考えられますので賛成致します。</p> <p align="right">【(社)日本CATV技術協会】</p>	
5	<p>今回の「無線設備規則および特定無線設備の技術基準適合証明等に関する規則の各一部改正案」によりCATV網などに接続されるギャップファイラーが追加されることは、免許手続きの簡便化や無線従事者の配置が不要になるなど運用面の簡素化が図られ、ギャップファイラーの普及促進が期待でき、また、山間辺地や高層ビルなどの難視聴対策も進むものと考えられますので、賛成いたします。</p> <p align="right">【(社)日本ケーブルテレビ連盟】</p>	